

## 総 評

例年出題されていた会話文読解がなくなり、内容一致問題も出題されなかった。第四問の設問構成に変更があったが、それ以外は概ね昨年度と同様であった。英語としては難しく、平均点は 50.9 点だった。第三問の長文読解は、本文の内容を正しく読めていれば概ね正答できる内容であった。第四問の長文は、設問は難しくないが、読みづらく、解けない生徒が多かったと予想される。第五問・2 の英作文は、例年出題されていた自分で内容を考えるタイプではなく、日本語を英語に直すタイプだった。あすなろ学院の英語の授業を通して基本事項を学び、実戦ゼミや直前特訓ゼミで長文読解演習を積んでいれば正答できる問題が多かった。

## 難易度・出題形式

### 【第一問】リスニング〈標準〉

昨年同様の出題形式。実戦ゼミと直前特訓ゼミで演習を積めば十分正答できる内容であった。

### 【第二問】適語選択・適語補充・語順整序〈やや易～標準〉

昨年同様の出題形式。中 3 内容：2 題，中 2 内容：2 題，中 1 内容：3 題が出題された。語順整序で関係代名詞（目的格）の省略を使う問題が出題されたが、あすなろ学院で学んだことを復習しておけば十分正答できる。

### 【第三問】長文読解〈やや易～やや難〉

例年出題されていた内容一致問題がなくなり、理由記述（1 問）、英問英答（1 問）、本文内容要約（2 問）が出題された。本文内容要約問題の内の 1 問は、本文で起きた順番通りに選択肢を並べかえる問題で、選択肢の“ウ”が最初に来ると気づくかがポイントである。2 問目は、本文の要約文内の空欄に入る英語を本文から抜き出す問題で、“have a dream”をヒントに探せば正答できる。

### 【第四問】長文読解〈標準～やや難〉

会話文形式ではなくなり、昨年同様の理由記述と英問英答、本文内容要約の適語選択に加え、指示語内容選択、適文選択、段落の主な話題を選択する問題が出題された。どの問題も本文内容を読めていれば答えを導けるが、長文のテーマが環境問題に関する内容のため、英語が苦手だという生徒にとっては少々読みづらかったかもしれない。英問英答では、例年通り代動詞を使って答える問題が出題されたが、実戦ゼミ、直前特訓ゼミを通して何度も扱っている。

### 【第五問】英作文〈標準～やや難〉

1 は昨年同様の内容。相手に対し「〇〇に行こう。」と書けばよい。2 はここ最近の傾向とは違い、日本語で書いてある情報を選び、英語に直すスタイルの英作文であった。例年に比べれば書きやすい内容だった。「駅からの所要時間」という項目に関しては、直前特訓ゼミで扱っていたので的中している。